

ふるさと防災チームの取組み

昨年(令和元年)4月、内閣府の地区防災計画策定支援事業に応募しましたところ、図らずも事業の対象に選定していただき、地区防災計画策定の緒に就くことができました。

防災の要は住民一人ひとりの「自助」と住民相互の「共助」です。私たちふるさと防災チームの目標は、災害時にこの「自助・共助」が確実に実現できる基盤づくりです。そのために全住民の参加と協力による防災活動を目指します。



地域の特性 ・ 課題

- ・ 想定災害は地震または豪雨による土砂災害
- ・ 出入り口が一箇所のみで土砂災害の脆弱地域
- ・ 最寄り指定避難所(菩提寺北小)が遠すぎる
- ・ 有事の一時避難場所として近江CCが受入れ
- ・ 18歳以上の住民でふるさと防災チームを構成
- ・ 全住民が自助共助の意識を持った防災活動
- ・ 有事の際に助かるための減災活動とその準備

●現在【成長期】

区長/民生委員児童委員/防災士/有志で実動部隊を組織し各種防災訓練や地区防災計画の策定に向けてワークショップを行なっている
自治会館や公園に加え隣接ゴルフ場も一時避難場所となる

どんと焼き時の放水訓練



どんと焼き時の炊き出し訓練



地区防災計画策定に向けたワークショップ

●過去【黎明期】

住民の災害に対する危機意識はあったが防災チームは名前と名簿だけの組織であった

●未来【成熟期】

関係機関(行政/菩提寺まちづくり協議会/湖南市防災士連絡会)と協力連携し防災減災の一層の意識向上を図る

完成した地区防災計画を礎に誰もが安心して暮らせる近江台区を目指す



災害時一時避難場所
近江カントリー倶楽部

これまでご指導くださった関西大学の近藤先生をはじめ内閣府、国土防災技術(株)そしてご協力いただいた湖南市危機管理防災課の方々に深く感謝を申し上げます。